増速歯車機構を用いた足押し発電試作装置の発電量の評価

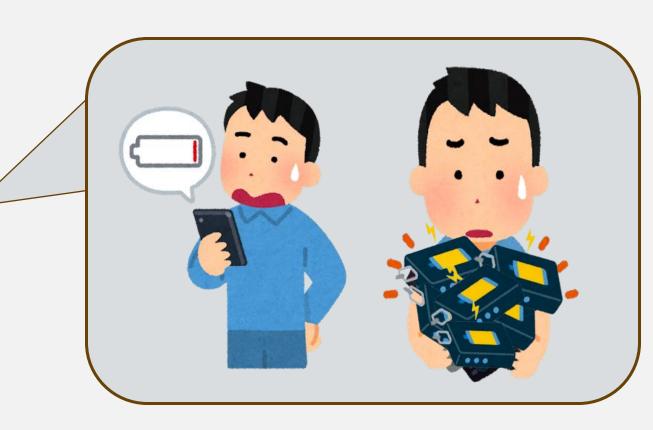
情報通信システム工学科 Ic201223 新里察得

指導教員:中平勝也

研究背景

【視覚障害者向け歩行支援シューズ】

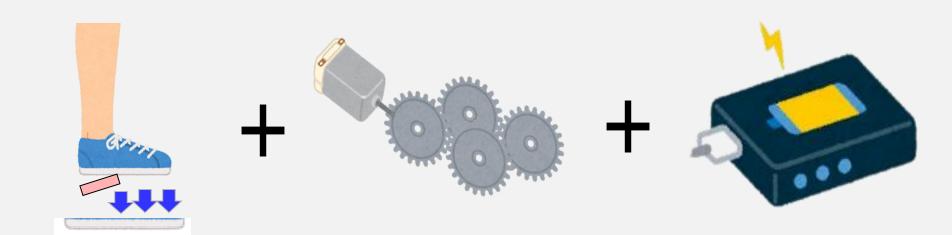






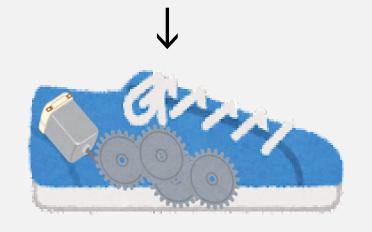
移動しながら発電したい

提案する足押し発電装置



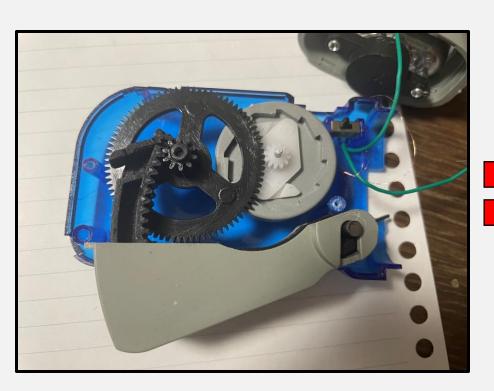
【足踏み機構】

【増速歯車装置】【モバイルバッテリー】



【足押し発電装置】

増速歯車装置の内部構造



ハンドクランクライト

【歯車A】

駆動歯車



·直径[4cm]

・歯の数[84]

【歯車B】

発電用モーター



7倍

·直径[0.8cm]

・歯の数[12]

1分間に665回転することができる。

足押し発電装置の適用判断

目標時間

一般的なバッテリー容量 【10,000mAh×3.7v】



消費電力 【マイコン】 【スマホ】 5,000mWh + 15,000mWh

=1時間50分

予測時間

 $3.8 \text{mW} \times 665 \times 60 = 150 \text{Wh} = 150,000 \text{mWh}$

モバイルバッテリーを約15分で満充電

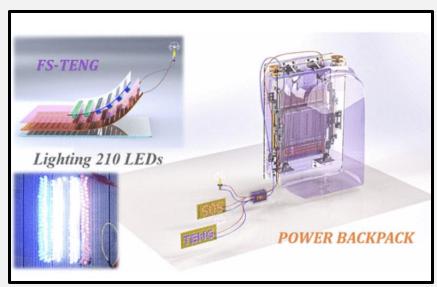
適用可能

従来のウェアラブル発電装置

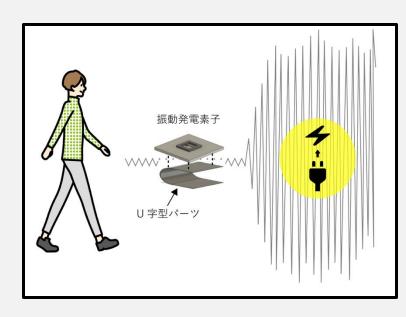
移動しながら発電する方法として、



フレキシブルソーラーパネル「solamaki」^[1]



発電バックパック[2]



U字型の振動発電素子[3]

従来のウェアラブル発電装置との定性比較

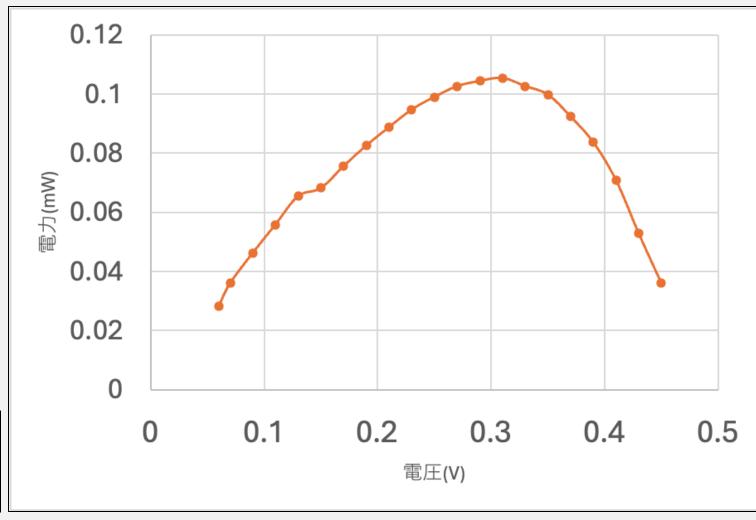
発電方法	ソーラーパネル	U字型圧電素子	バック型発電機	足押し発電装置
発電性				
耐久性				
機構の 簡易性	0	0		
利便性				

ソーラーパネルの発電量



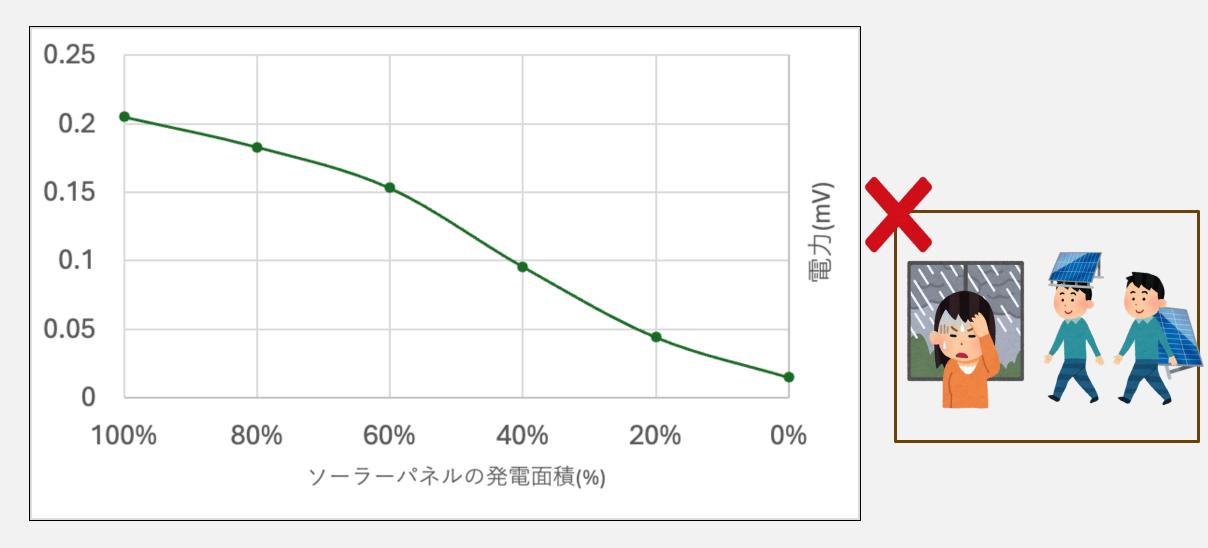
使用したソーラーパネルと発電用モーター

ソーラーパネルの最大発電量 **約 0.11mW**



使用したソーラーパネルの発電量グラフ

ソーラーパネルの問題点



ソーラーパネルを使用した際、影で発電効率の低下が問題点。

足押し発電装置の発電量計測内容





靴に実装したときの発電量と必要圧力を測定する。

足押し発電装置の計測結果

踵にかかっている圧力 約 1018Pa

【最大値】

発電量

圧力

約 2.13mW 約 850Pa

【最小値】

発電量

圧力

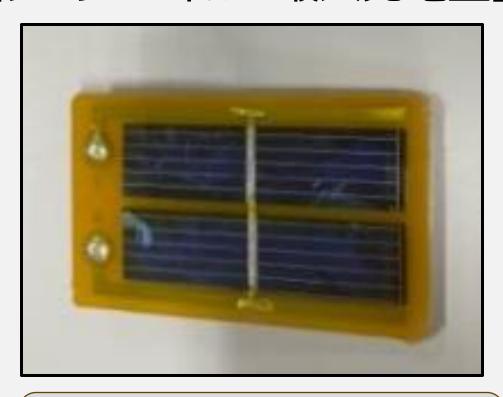
約 1.47mW 約 320Pa



ソーラーパネルとの比較結果

【ソーラーパネルの最大発電量】

【足押し発電装置の最大発電量】



19倍



測定値 約 0.11mW

測定値 約 2.13mW

足押し発電装置はソーラーパネルより適している

足押し発電装置の予測値・測定値の結果と考察

【最大発電量】

【満充電にかかる時間】

予測值 約 3.80mW 予測值 約 15分

↓44%減少

測定値 約 2.13mW 測定値 約 26分

目標時間1時間50分を達成可能

参考文献

- [1] みんな電力株式会社:「環境への取り組みをエンジンとした経済成長に向けて」,環境成長エンジン研究会,平成27年7月.p72-76.
- [2] Ze Yang, Yiyong Yang, Fan Liu, Zhaozheng Wang, Yindo Li, Jiahao Qiu, Xuan Xiao, Zhiwei Li, Yijia Lu, Linhong Ji, Zhong Lin Wang, and Jia Cheng: Power Backpack for Energy Harvesting and Reduced Load Impact, ACS Nano 2021, 15, 2, 2611–2623.
- [3] Sengsavang Aphayvong, Shuichi Murakami, Kensuke Kanda, Norifumi Fujimura, Takeshi Yoshimura:「Enhanced Performance on Piezoelectric MEMS Vibration Energy Harvester by Dynamic Magnifier under Impulsive Force」,Applied Physics Letters,2022年10月26日.